

JFA 第 36 回全日本 O-30 女子サッカー大会 参加報告書

報告者 岡山県 加藤恭子

【大会概要】

- ・大会名：JFA 第 36 回全日本 O-30 女子サッカー大会
- ・主催： 公益財団法人日本サッカー協会
- ・主管： 一般財団法人静岡県サッカー協会
- ・後援： 読売新聞社
- ・協賛： JFA オフィシャルトップパートナー JFA オフィシャルサプライヤー
キリンホールディングス株式会社 アディダス ジャパン株式会社
JFA コンペティションパートナー株式会社モルテン、ニチバン株式会社
- ・日程： 〈1 次ラウンド〉 2025 年 3 月 15 日 (土)
〈1 次ラウンド・2 次ラウンド〉 3 月 16 日 (日)
〈2 次ラウンド〉 3 月 17 日 (月)
- ・会場： 時之栖スポーツセンター裾野グラウンド (静岡県裾野市)
- ・参加者：各地域 2 級審判員 (8 名)・東海地域審判員
INS 山岸佐知子氏、鮎貝志保氏、浅井昭子氏

【事前研修】

3 月 3 日 (月) 20:00~21:30 オンライン事前勉強会

<研修内容>

大会要項の確認・・・山岸氏

レギュレーションの確認、通常とは異なるルールの再確認

大会役員としての心構え・・・鮎貝氏

○審判員とは、競技規則と自身の立場・役割を十分に理解し、「競技と競技規則の精神」に基づき、能力の最大を尽くして判定を行う人。

○審判員の役割・存在は選手が全力を出し切れるように楽しめるよう、責務を果たす。公平にジャッジする。安全を守る。

また、挨拶・身だしなみ、責任ある発言と行動等、選手をサポートする大会役

員の1人であるとレクチャーしていただきました。

□試合前の打ち合わせ（事前課題）・・・浅井氏

- スムーズに試合を進めるために必要なことは？
- なぜ打ち合わせは必要か？
- 打ち合わせはどのような内容ですか？

以上、3点について、大会前日の研修会までの宿題をいただきました。

- 審判員の目標と重点項目として、サッカーの魅力を最大限に引き出すよう、フェアで安心・安全な試合環境を整備し、スムーズに試合を進める事。

[私たちのゴール]

委ねられた人としてフィールドで責任を果たす
ONE TEAMでO-30大会を成功させる

【3月14日大会前日研修】

□会場に到着して夕食後、事前勉強会での宿題「試合前の打ち合わせ」について研修を行い、各々意見を出し合いながらグループディスカッションをしました。打ち合わせの内容、順番、優先順位等、どのグループも大体同じ内容ではありましたが、内容が他の審判員に伝わっているかどうか？など質問もあり、打ち合わせの大切さを再確認した研修でした。

その他、大会1日目のスケジュール、レギュレーション等の再確認後、1日目の割当が発表されました。





【大会 1 日目】

<担当試合：1 次ラウンド>

リトルスターズ（宮城） vs スフィーリア呉羽 FC（富山） 主審

SOCIOS.FC VENGA(東京) vs ENSOWA KUMAMOTO(熊本) 副審 1

朝早い時間は富士山がはっきり見えていましたが、天気予報通り、お昼前から段々と雨が降り始めピッチもスリッピーになってきました。

【大会 1 日目研修】

□担当試合のチームに分かれて試合の振り返り。

INS 山岸氏、鮎貝氏、浅井氏

□研修内容：PK 戦（ペナルティーシュートアウト）

大会 2 日目の午後から 2 次ラウンドとなり、同点の場合は PK 戦（ペナルティーシュートアウト）になる為、PK 戦での主審、副審の位置や、ボールの位置、開始前→進行中→終了と手順をレクチャーしていただき、（ペナルティーシュートアウト）の際、どんな事に気を付けなければならないか等をディスカッションしました。

2 日目のレギュレーション確認と割当が発表されました。

【大会 2 日目】

<担当試合：1 次・2 次ラウンド>

FC べにばな（山形） vs Arancio Giocare Fiore（高知） 主審

FC 楓昴 Lifelong（埼玉） vs Feminino（宮城） 副審 1

朝から雨が降りグラウンド状態は良好では無かったが、それぞれのチームがフェアでお互いをリスペクトしながら戦っていました。

夕食後、2 日目の試合の振り返り、3 日目の大会スケジュール確認と割当が発表されました。



【大会 3 日目】

<担当試合：2 次ラウンド>

FC べにばな（山形） vs 高岡クイーンズ FC（富山） 第 4 審

HFC レディース（神奈川） vs Feminino（宮城） 主審

大会 3 日目にして、ようやく晴天での試合となりましたが、選手の疲労も溜まっており、ここに来て「選手の安全を守る」「スムーズに試合を進める」事が重要だと感じました。

試合の振り返り

1日目は、初めて組むメンバー同士で与えられた任務を遂行しましたが、お互いに遠慮しているところを感じられ、自分自身いつもの能力を発揮できていなかったように思います。

研修でレクチャーをしていただいた打ち合わせについては、チームで確認をしながらスムーズに行えました。

2日目は、1日目の反省を踏まえながら、いつものレフェリングを心掛けた結果、安定したレフェリングに近づけたような気がします。

ただ、朝から雨が続けていたので、グラウンド状態はスリッピーとなり、選手の怪我等も懸念されましたが、大きな怪我もなく2日目の全日程終了することができました。

3日目最終日は、選手そして私たちレフェリーも疲労が溜まり、より集中して「スムーズに試合を進める」事を意識しながら、試合に臨みました。

アドバイスとして、争点への移動のタイミング等、より良い位置で事象を見るには？をレクチャーしていただきました。

大会を通して

大会前日の研修を含め4日間、中々お会いすることが無い、他地域の審判員・東海地域の審判員とともに勉強させていただき、また引き出しが増えたように思います。今回の大会前に2級になられた方が多い中、一緒に活動させていただき新しい発見もありました。選手も審判員に対して、リスペクトしてくれていた事も、嬉しかったです。各々良い個性がたくさんあり、教えていただく事もあり、有意義な4日間でした。

タイトなスケジュールではありましたが、無事終了してホッとしています。

ONE TEAMでO-30大会を成功させる事が出来たと思います。

この大会で学んだ事を、審判員、またインストラクターとして、中国地域、県内に還元できたらと思います。

この大会に参加させていただきありがとうございました。

